

第21回東職ランチオンセミナー

歴史学からみた 地震・噴火

～東大で文理融合を実現することは国民のためにもどうしても必要～

日時：2016年4月8日(金)

12:10～13:00 (開場 11:30)

講師：保立 道久氏 (東京大学名誉教授)



会場：地震研究所2号館
第2会議室

主催：東京大学教職員組合
お問い合わせ：03-5841-7971

<http://tousyoku.org/>

常勤・非常勤にかかわらず、東京大学で働く教員・職員の生活・労働条件に関わりを持つ問題・テーマを、専門家に聞く機会を持ってないか・・・。

そんな声から東職ランチオンセミナーは生まれました。昼食(弁当)持ち込み可の肩のこらないランチオン形式。専門家の話を30分聞き、質疑を15分。どなたでもご参加ください。昼休みを有効に使います。

【今後の予定】

第22回 5月13日(金) 12:10～13:00 (開場 11:30) 東京大学史料編纂所会議室を予定

「沖縄にはかつてどんな王国があったのか」(仮題) 渡辺美季氏 (東京大学大学院総合文化研究科准教授)

第23回 「再生可能エネルギーの系統接続の課題と対策」(仮題) 今中正輝氏 (生産技術研究所特任研究員)

東京大学には組合があります。

東京大学で働く、常勤・非常勤・パートタイムの教職員は誰でも加入できます。



【東職ランチョンセミナー履歴】

- 第1回 2014年3月5日「制定前後から見た憲法の今日の問題」石田 憲氏（千葉大学法経学部）
- 第2回 4月4日「最近の労働法制改革の動きについて」水町勇一郎氏（東大社会科学研究所）
- 第3回 5月19日「大学研究と公益通報制度」新村響子氏（弁護士/旬報法律事務所）
- 第4回 6月12日「学校教育法改正と大学の自治」広渡清吾氏（法学/専修大学教授）
- 第5回 6月23日「安倍政権の政策をどう見るか」宇都宮健児氏（弁護士）
- 第6回 7月23日「憲法9条と現在の政治状況について」小森陽一氏（東大教養学部教授）
- 第7回 9月25日「女性の活躍促進というけれど」大沢真理氏（東大社会科学研究所教授）
- 第8回 10月9日「原発と火山噴火リスク」中田節也氏（東京大学地震研究所教授）
- 第9回 11月19日「軍事と企業技術・大学研究」話題提供者を囲んでの意見交換
- 第10回 2015年1月21日「急展開する軍学共同」池内 了氏（総合研究大学院大名誉教授）
- 第11回 2月12日「日本軍『慰安婦』問題をどう考えるか」吉見義明氏（中央大学教授）
- 第12回 3月4日「八ッ場ダムの長期的な安全性は保証されているのか！」伊藤谷生氏（千葉大名誉教授）
- 第13回 4月9日「原子力発電所と断層～科学と行政の狭間で～」藤本光一郎氏（東京学芸大学准教授）
- 第14回 5月22日「農地除染と地域再生の課題～大学の役割」溝口 勝氏（東京大学教授）
- 第15回 7月13日「景色の変化の向こうに見えるもの～災害と開発の歴史」榎原雅治氏（東京大学教授）
- 第16回 9月17日「医療事故調査制度－その仕組み構築の難しさ－」樋口範雄氏（東京大学教授）
- 第17回 10月7日「上野の杜から－自然と歴史環境・憩いのアメニティ空間の危機～」小川 潔氏
- 第18回 11月18日「市民・患者と医療者の対話から生まれるもの」孫 大輔氏（医学教育国際研究センター）
- 第19回 2016年1月15日「異次元金融緩和とは何だったのか？アベノミクス再考」伊藤正直氏
(大妻女子大学教授)
- 第20回 2016年2月8日「中国の労働組合」高見澤 磨氏（東京大学東洋文化研究所所長・教授）

法律相談・労働相談のご案内

東京大学教職員組合の組合員であれば、どなたでも無料で法律相談を受けることができます。相談内容は職場の問題のほか、個人的な相談（離婚・相続・遺言・交通事故・その他）も可能です。契約している顧問弁護士は複数名で、女性の弁護士もおります。相談の内容によって担当者、担当人数が決まります。

何か困ったことがあったら一人で抱え込まず、ぜひご利用ください。

また、東職労働相談員による労働相談は、これまで通り、組合員・非組合員を問わず、東京大学で働くすべての方の相談を受け付けています。まずは組合書記局にご連絡ください。

連絡先 東京大学教職員組合書記局 月～金 10:00～18:00
TEL&FAX 03-5841-7971（内線27971） syokikyoku@tousyoku.org

2000万人「戦争法の廃止を求める統一署名」にご協力ください

署名用紙は東職書記局にあります。また、ダウンロードしてもお使いいただけます。<http://tousyoku.org/>

